

平成30年度最高裁判所総合評価審査委員会（第4回） 議事概要

開催日及び場所	平成31年3月12日（火）最高裁判所中会議室
委員	<p>委員長 中城康彦（明海大学不動産学部教授）</p> <p>委員 遠藤和義（工学院大学建築学部教授）</p> <p>伊室亜希子（明治学院大学法学部教授）</p> <p>馬見田政公（経理局営繕課首席技官）</p> <p>藤田耕一郎（同 次席技官）</p>
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 平成30年度（上半期）の総合評価落札方式の発注状況について

- (1) 平成30年度（上半期）総合評価落札方式の発注状況について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

調査基準価格を大幅に下回る価格で落札している案件について、どのような工事に多いか。何か傾向はあるのか。

【事務局】

照明器具更新や受変電設備改修のような工事費に対して機材の割合の多い工事に多い傾向にある。

【委員】

調査基準価格を大幅に下回る価格での入札が多い場合、積算方法を見直すことは検討しているのか。

【事務局】

現在は、国交省の積算基準に基づき予定価格を算出しており、適正に予定価格を算出していると考えているが、調査基準価格を大幅に下回る価格での入札が続く場合には、予定価格の算出方法について検討が必要と考えている。

【委員】

了解した。

2 平成31年度総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施方針等について

- (1) 平成31年度総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施方針等について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

【委員】

本年発注工事の技術提案評価型による調達手続きにおいて、事務過誤が生じたとのことだが、ガイドラインの分かりやすさと共に異動期対策も重要と考えられ、再発防止に努めていただきたい。

【事務局】

実施方法等については、検討する。

【委員】

了解した。

3 平成31年度の審査対象案件の抽出について

- (1) 平成31年度の審査対象案件について説明
- (2) 委員から意見等はなし

4 (業務) 総合評価落札方式（標準型）神戸地家裁柏原支部庁舎新営実施設計業務の評価結果

について

- (1) 神戸地家裁柏原支部庁舎新営実施設計業務の評価結果について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

評価テーマに対する技術提案の評価の着眼点について、「的確性」「独創性」「実現性」に着目することだが、「独創性」についてはどのくらい評価したのか。

**【事務局】**

対象となる業務は実施設計業務であり、裁判所の提示する基本設計図を元に行うことから、デザインの提案や独創性についての評価はしていない。

**【委員】**

今回提示されている基本設計図を元に、受注者がデザイン力を発揮できる余地は残されており、デザイン力を評価することも出来たのではないか。

**【事務局】**

設計にデザインの要素が大きな割合を占めていることは理解しているが、今回業務は実施設計のみのため、裁判所の提示する基本設計をどう実現するか、裁判所の機能をどう実現するかを重視した評価とした。

**【委員】**

実施設計業務の場合、業務の理解度が8点、実施方針が12点、評価テーマに関する技術提案が15点という配点としているが、実施設計業務の場合、この配点が適切だったかどうかは検証する必要がある。技術提案よりも業務の理解度や実施方針の配点を高くする方法も検討出来たのではないか。

**【委員】**

評価テーマについてどこまで提案できるか、が参加業者に伝わっているか。発注者は基本設計のデザインを県や市の担当者に伝える手法について、提案を求めることを意図したが、実際の提出された技術提案書にはそうではないものも含まれており、評価テーマの意図が参加業者に伝わっていない。

**【事務局】**

今後の検討課題とさせていただきたい。

**【委員】**

了解した。

- 5 (業務) 簡易公募型プロポーザル方式 仙台高裁秋田支部・秋田地家簡裁庁舎新営実施設計業務の評価テーマの設定について

- (1) 仙台高裁秋田支部・秋田地家簡裁庁舎新営実施設計業務の評価テーマの設定について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

受注者に配布する業務仕様書に立面図等は添付されるのか。

**【事務局】**

基本設計図として、配置図、平面図、立面図、仕上げ表等を添付する。

**【委員】**

構造についてSRC造とされているが、S造やRC造を検討できる余地はあるか。

**【事務局】**

法廷等の構造を踏まえ、SRC造で建設することで予算化されており、事業計画が決まった段階では構造をSRC造とすることは確定している。

**【委員】**

本件敷地は、寒冷地であり、冬期には長期間にわたり積雪のある地域である。地域性を踏まえた提案を評価する必要があるが、課題について十分に説明する必要がある。

**【事務局】**

提示方法については検討する。

**【委員】**

本件では、長寿命化に関する技術提案と環境配慮に関する技術提案を求めることとしているが、各々のテーマで重複する提案が提出されるおそれはないか。

**【事務局】**

各々のテーマについて、慎重に評価することとする。

**【委員】**

了解した。

6 (業務) 簡易公募型プロポーザル方式 広島地家裁福山支部庁舎新営実施設計業務の評価テーマの設定について

- (1) 福山地家裁福山支部庁舎新営実施設計業務の評価テーマの設定について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

環境配慮に関する評価テーマについて、例えば開口部に庇を設けるなどの日射制御についての提案は、評価の対象となるのか。

**【事務局】**

本件において、基本設計図を踏まえて多少の変更は可能である旨を条件明示する予定であり、基本設計の趣旨を踏まえた提案については評価する。

**【委員】**

自然災害の被害防止に関する提案について、例えばハザードマップを確認するという提案は評価の対象となるのか。

**【事務局】**

ハザードマップに関する提案については、ハザードマップを確認した上で、何らかの工夫を提案したものが評価の対象になると考える。

**【委員】**

自然災害の被害防止に関する提案について、例えば免震構造の提案があった場合、どのような評価となるか。発注者の条件であるコストと工期を適切に伝える必要がある。

**【事務局】**

免震構造の提案については、コストと工期がかかるため、評価しない。

**【委員】**

自然災害の被害防止に関する提案について、例えば類似業務の経験を高く評価するのであれば、技術提案で配置技術者を評価するよりも、参加要件で設定の方が確実性があると思われる。

**【事務局】**

参加資格は広く参加を求め、技術者の資格、実績及び評価テーマに対する提案で評価することとしている。

**【委員】**

了解した。

7 (工事) 技術提案評価型S型(WTO) 名古屋地家裁半田支部庁舎新営建築工事の評価項目の設定について

- (1) 評価項目の設定について説明
- (2) 委員からの意見等はなし

8 その他

- (1) 今後の委員会スケジュールについて説明
- (2) 委員からの意見等はなし